

国労本部電送 No.166	発信日 2011年3月14日	発信 企画部	責任者	受領者
------------------	-------------------	-----------	-----	-----

指示第60号

2011年3月14日

エリア本部
各 委員長 殿
地方本部

国 鉄 労 働 組 合
中央執行委員長 高橋 伸二

「東日本大地震災害対策本部」の設置について

地震災害に遭われた組合員・家族の

皆さんに心からお見舞い申し上げます。

3月11日（金）14時46分頃、東北地方太平洋沖を震源とするM9の地震が発生し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県など甚大な被害が発生しました。

この大地震により多くの尊い人命と国民の財産が消失し、国労組合員をはじめとするJRに働く多くの労働者とその家族並びにJR各会社も極めて大きな被害を被っているところです。被害にあわれた国民の皆さんと国労組合員・家族、JRで働く仲間とその家族に心から哀悼とお見舞いを申し上げます。

国労本部は、このような事態に伴い、東日本本部と共に被災者を救済・支援するため高橋委員長を本部長とする「国鉄労働組合東日本大地震災害対策本部」を設置し、当面の取り組みを決定した。全機関は全力をあげ取り組みを行うこと。

1. 「国鉄労働組合東日本大地震災害対策本部」の構成について

本部長	高橋伸二（中央本部委員長）
副本部長	田中博文（中央本部副委員長）
副本部長	高野苗実（東日本本部委員長）
事務局長	濱中保彦（中央本部書記長）
次長	松井正義（東日本本部書記長）
事務局員	本部執行委員・東日本本部役員

2. 当面の取り組み

何よりも安否の確認と被害状況の把握に全力をあげること。

- (1) 現在も、被災地ではライフライン（電気・水道・電話回線等）等が寸断されたままであるが、関係する地方本部は、組合員及び家族の安否の確認について全力を上げること。
- (2) 安否について確認した内容を本部災害対策本部に報告をすること。
- (3) 関係する地方本部は、国労組合員の家屋の損害状況を把握して本部災害対策本部に報告すること。
- (4) 東北本線をはじめ線路も大きな被害を受けている。国民の足を守る立場から、会社と協議し、復旧・復興に向けて全力をあげること。

3. 本部災害対策本部は、災害に見舞われた組合員およびその家族に心からお見舞いを申し上げますとともに全国交運共済と連携を取り支援対策をおこないます。なお、今後の具体的支援等については対策本部として現地と相談の上別途指示を行う。

※ ITF（国際運輸労連）の Cockcroft 書記長よりお見舞いが届きました。
日本の ITF 加盟組織の皆さんへ

2011年3月11日
仲間の皆さん

日本を蹂躪した巨大地震と津波が多くの人々の喪失と損害をもたらしたことを知り、私達は深い悲しみに襲われています。

私達に、特に深刻な衝撃を与えたこの大災害を克服しようとする日本の交通労働者に対し、世界の4百万人以上の交通運輸労働者から成る ITF 全体が、私と共に深甚なる哀悼とお悔やみを申し述べ、連帯の意を表します。

この困難なときに悲慘な出来事を克服しようとする日本の ITF 加盟組織の全ての人々に対し、世界の交通運輸労働者は支援の手をさしのべる用意をしています。

連帯を込めて

ITF 書記長 デビッド・コックロフト

以 上